

# 恐怖の補習 サバイバル日本史④

【前回までのあらすじ】

デモニツシユ林（補習担当の先生だ）から出された問題に正解しなければ退室を余儀なくされる補習「サバイバル日本史」。

実に暴力的なこの補習に初参戦したカジであったが、第一問を当てられるというまさかの展開に。『あえて正解を答えない』ことで早々に離脱するつもりが、まさかの新ルール「ステイ」が発動。教室に留まることとなったのだが…

ステイという新ルールにざわめく生徒たち。この補習は一体どこへ向かっていくのか、みんなが不安を抱えていた。

さて、カジが答えられなかった問題は、別の生徒が難なく正解し、次の問題が出される。問題を読み上げたデモニツシユは、迷うことなく回答する生徒を指名した。

「カジ、答える！」

えっ？また俺なの？退室できなかったガツカリ感を抱えつつも、しばらくは出られないと高を括っていたカジ少年は、問題すら聞いていなかった。またまたピンチだ。すぐに周りのカジ友から『ويسパー回答（前号参照）』が再び発せられる。が、それを無視し、今回はすかさず答える！

「分かりません！」

えーいままよの精神。どつちにせよカジがターゲットなんだよな。だったら戦ってやるぜ！というおかしな反骨心を胸に、デモニツシユにバトルを挑む。次の問題も、次の次の問題もやはりカジが当てられる。

「カジ、答える！」 「分かりません！」 「座れ！」

このやりとりを繰り返すこと数十回、教室には異様な空気が漂っていた。他の生徒たちもとぼつちりを喰らわれないように、当てられた問題を全力で答えていく。にっちもさっちもいかない状況の中、新たな展開が訪れる。なんと、カジが自力で答えられる問題が出題されたのだ。さあどうなる！



Cool Librar

華麗なる図書館利用者のための

カールリブラー

講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文/カジ

東海オンエアってすごいアレなのな！

今さらな話なのだが、岡崎市出身のユーチューバー「東海オンエア」が若い子にもすごい人気だということがわかった。イベントに彼らが登場すると、朝からヤングなファンがわんさか来てくれるの。先日、仕事で東海オンエアメンバーとお話をする機会があったのだが、本当にいい子たちで一瞬で好きになってしまった。この話はまたこの枠でするのでアレして待て。

